

第4次中野区一般廃棄物処理基本計画 —なかのごみゼロプラン— 〈概要版〉

本計画は、区の清掃・リサイクル事業の指針となるものです。区を取り巻く様々な状況を踏まえ、持続可能な循環型社会を形成するために、さらなるごみ減量をめざして策定しました。

基本理念

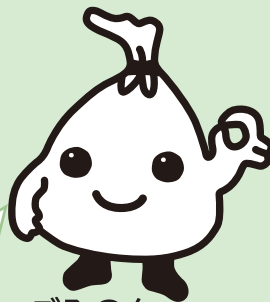
「環境負荷の少ない持続可能なごみゼロ都市」をめざします。

単にごみを減らすだけではなく、脱炭素社会※の推進を踏まえた持続可能な社会の実現に向け、発生抑制を第一に考えて行動し、使用できるものは繰り返し使うことでごみと資源の全体量を減らし、それでも不用になったものは可能な限り資源化を行うことで、埋め立て処分量ゼロをめざします。

※「脱炭素社会」とは… 二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質ゼロにする社会のこと

Point

まず第一に、**不用なものは買わない、もらわないこと**
(Reduce:発生抑制)
を意識して行動しましょう



ごみのん
(中野区ごみ減量キャラクター)

3Rとは

リデュース:発生抑制
(Reduce)
リユース:再使用
(Reuse)
リサイクル:再生利用
(Recycle)

計画期間

令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)

概ね5年後、または取組の進捗状況や社会経済状況、制度の変更および関連計画との整合性などを踏まえ、必要に応じて計画内容を見直し、改定を行うこととします。

計画改定の背景

環境上の悪影響の軽減や廃棄物の大幅な削減がSDGs(持続可能な開発目標/右図)の達成すべきターゲットとして掲げられるなど、清掃・リサイクル事業のあり方だけでなく、日々ごみを排出する区民・事業者の暮らしのあり方自体が問われる時代になっています。区を取り巻く様々な状況を踏まえ、「中野区基本計画」(2021～2025年度)の策定にあわせ、前計画(第3次一般廃棄物処理基本計画)を改定しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

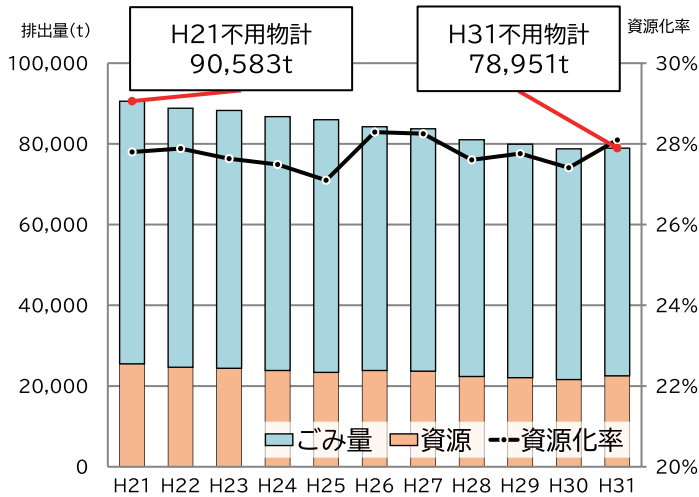


中野区のごみ・資源の状況

平成31(令和元/2019)年度までは、ごみ量・資源量ともに減少傾向にありました。ごみ量と資源量を合計した不用物総量は、過去10年間で約1万2千トン減少しています。

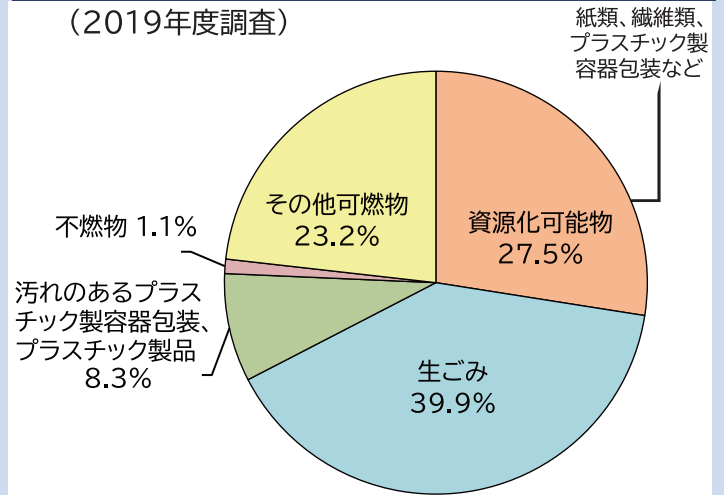
なお、ごみの中には、ペットボトルや紙類、空き缶など資源として活用できるものがまだ多く混入しています。令和元(2019)年12月に実施したごみ組成分析調査によると、燃やすごみの中には、資源化可能物(排出時に資源として分別できるもの)が27.5%含まれています。

ごみ量および資源量の推移



「燃やすごみ」の組成分析調査結果

(2019年度調査)



令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、**ごみ量・資源量ともに増加に転じました。**

ごみ処理とリサイクルにかかる費用は1年間で約50億円で、区民一人あたりで見ると年間約15,000円かかっています。

Point

- (1) 資源を含めた不用物総量の減量促進
「不用物総量(=燃やすごみ+陶器・ガラス・金属ごみ+粗大ごみ+資源量)」そのものを減らすため、「3R」の中でも優先順位の高いリデュース、リユースのさらなる推進が必要です。
- (2) 区民、事業者、区の三者の取組によるごみ減量の推進
これら三者が協働して、3R推進、食品ロス削減等の事業を展開する必要があります。
- (3) 事業系ごみの発生抑制と適正排出
事業者の責任感を喚起し、適正な分別排出と発生抑制を促進していく必要があります。
- (4) 23区全体のごみ量、最終処分量の削減推進
埋立処分場を長く利用するため、ごみの埋め立て量を削減する努力が求められています。
- (5) 安定した清掃事業の継続
大規模災害時や感染症流行時でも、安全・安定的にごみの処理が行われるよう、必要な措置の実施に努める必要があります。

計画改定に向けた課題

ごみ減量目標

基本理念の達成に向けて、次の指標と目標値を設定します。

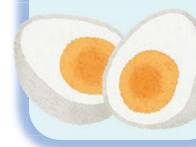
Point

区民1人1日あたりのごみ排出量については、2030年度までの10年間で **66g** の減量をめざします



重さが「66g」ってたとえば？

たまご (Lサイズ) 1個分です!



指標	指標とする理由	令和2 (2020) 年度 実績	令和7 (2025) 年度 目標値	令和12 (2030) 年度 目標値
区民1人1日あたりのごみ排出量	前計画に引き続き指標に設定し、さらなるごみ減量を呼び掛けていきます。	477g	431g	411g (10年間で-66g)
区民1人1日あたりの不用物総量 (ごみ+資源)	資源についても発生抑制を第一に考えるライフスタイルの浸透をめざし、新たな指標とします。	665g	610g	584g
燃やすごみの中の資源化可能物の混入率	限られた資源を有効に活用するため、新たな指標とし、分別徹底の指導や啓発を行っていきます。	25.5%	22.8%	18.1%

中野区の将来の姿：区民、事業者、区がそれぞれの役割を果たし、互いに協力し合うことで、ごみを出さない生活スタイルや事業活動が浸透するとともに、環境に配慮したごみの減量化や効率的な資源化の取組が進み、ごみの減量が実現しています。

基本方針

ごみ減量目標を達成するため、4つの基本方針を定め、重点施策(→4ページ)を推進します。

基本方針1 入り口からのごみ発生抑制、再使用の意識醸成

区民や事業者がライフスタイルや事業のあり方を見直し、入り口からごみの発生を抑え、資源を繰り返し利用する暮らしや事業活動が営まれるまちにしていけるよう、様々な事業や取組を通じて幅広く啓発を行い、意識の醸成を図ります。



基本方針2 分別の徹底と効率的な資源回収

入り口で発生を抑え、使えるものを繰り返し使用しても、なお不用となるものを効率的に資源化するため、区民誰もが参加しやすい資源回収や、分別徹底の指導を進めます。



基本方針3 事業系ごみの減量と適正排出

事業系廃棄物収集届出制度の推進や排出指導、立ち入り調査等を通じて、事業者における適正排出やごみ減量がより進むようにしていきます。



基本方針4 環境に配慮した効率的な収集・運搬・処理

環境に配慮した効率的な収集・運搬・処理を選択し、安全に配慮した着実な収集・運搬・処理を行います。また、23区全体、東京二十三区清掃一部事務組合、都や国と連携し、さらなるごみ減量や緊急時のごみ処理の連携体制についても強化します。



計画実現のための重点施策

一人ひとりの取組を積み重ねて、ごみや資源の排出を減らしていきましょう



▲イベントで活躍するごみのん

基本方針に沿って重点施策 1～9 を推進します。

基本方針 1	1 普及啓発の充実	<ol style="list-style-type: none"> 1 イメージキャラクター（ごみのん）を活用したごみ減量普及啓発 2 ごみ減量出前講座、環境教育の充実 3 「資源とごみの分け方・出し方」リーフレットの充実 4 スマートフォンのアプリケーション等を活用した情報発信、啓発 5 リサイクル展示室の運営 6 区ホームページや情報誌等広報媒体の充実
	2 食品ロスの削減	<ol style="list-style-type: none"> 1 家庭、事業所における食品ロス削減のための啓発 2 区内大学等と連携した食品ロス削減の取組 3 飲食店・食品小売店等と連携した食品ロス削減対策事業 4 フードドライブ事業の実施 5 食品ロス削減推進計画の策定 6 食品ロス削減における他自治体との連携
	3 ごみと資源の発生抑制に関する啓発	<ol style="list-style-type: none"> 1 プラスチックの発生抑制に関する啓発 2 資源としての「雑がみ」の回収促進 3 リユース関連情報の配信
	4 分別の徹底・適正排出	<ol style="list-style-type: none"> 1 排出指導、不法投棄対策 2 危険物・有害物の分別徹底、混入防止 3 集合住宅への指導徹底 4 家庭ごみにおける費用負担制度について
	5 効率的な資源化の推進	<ol style="list-style-type: none"> 1 ごみとして収集した物の資源化 2 拠点回収の促進 3 びん・缶・ペットボトルの回収 4 自動回収機によるペットボトルの回収 5 集団回収に対する支援の推進 6 資源の持ち去り対策の強化について 7 プラスチック製容器包装の回収 8 新たな資源回収の調査 9 プラスチック資源の回収・リサイクル
	6 事業系ごみの減量と適正排出の促進	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業系廃棄物収集届出制度の推進 2 大規模事業用建築物への立ち入り調査 3 排出指導の徹底 4 一般廃棄物処理業者等に対する適正処理の推進 5 小規模事業者の資源・ごみの排出ルートづくり支援の検討 6 廃棄物手数料の見直し
基本方針 2	7 適正なごみと資源の収集・運搬	<ol style="list-style-type: none"> 1 安全・着実で、環境負荷を低減したごみ収集と資源回収 2 訪問収集の充実 3 適正な処理が困難な物の回収ルート確立 4 清掃・リサイクル事業の安定的な運営
	8 他区等と連携した処理・処分	<p>災害で発生した廃棄物の例（災害廃棄物対策フォトチャンネルより）</p>
	9 災害廃棄物の適正な処理	<p>安全・着実な収集</p>



▲中野区ごみ分別アプリのアイコン



▲食品ロス削減親子料理教室



▲食品ロス削減協力店目印のステッカー



▲プラスチック廃棄物の発生抑制、不法投棄対策、分別の徹底等が必要



▲集団回収集積場所の旗



▲資源の拠点回収ボックス ▲ペットボトル自動回収機



▲事業系有料ごみ処理券



▲安全・着実な収集

第4次一般廃棄物処理基本計画の全文は、区ホームページでご覧になれます

第4次一般廃棄物処理基本計画（概要版） 3中環ご第909号
 令和3(2021)年10月 中野区環境部ごみゼロ推進課 発行
 (所在地) 〒165-0024 中野区松が丘1-6-3 リサイクル展示室内
 (電話番号) 03-3228-5563 (ファクス) 03-3228-5634



Saving Food
Saving Materials
Saving Energy